

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	加藤 雅人
作業名称	Gr-Gc接続工事	作業手順書	作成年月日	令和2年10月12日
使用機械 使用設備	10tユニック、0.2バックホウ、4tダンプ、Wキャブ、連絡車		改正年月日	令和2年10月25日
			現場責任者	
使用工具、機器	ランマ、プレート、パイプレータ、ダウンザホール、ストライカー		協力会社	会社名
			協力会社責任者	自筆サイン
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、自発光チョッキ、防護メガネ、マスク、手袋、視認性の良い作業着			作業順序
材料	上部・中間・下部ブラケット、フッ素樹脂キャップ、地際防錆材、H鋼、鉄筋、端支柱間隔保持材、ワイヤー、索端金具、接続袖、生コン、碎石			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証			
	特別教育:職長・振動工具取扱			
	技能講習:車両系建設機械・玉掛け・小型移動式クレーン			
作業人員	職長 1人、作業責任者 1人、作業員 6人、保安員 2人			
	合計 10名			
作業手順	作業責任者(職長)	周知会実施日	令和2年10月26日	
周知会 参加者 サイン (記録)	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自筆サインする)			

1	現地確認
2	準備作業
3	掘削・H鋼の打込・碎石の敷設
4	アンカー部・鉄筋・型枠設置
5	コンクリートの打設・養生
6	型枠撤去・埋戻し
7	Gr部材撤去・Gc部材新設・GcGr擦り付け
8	清掃・後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△ △×、×△ ××	3:中程度 4:かなり大きい 5:極めて大きい	職長が確認 工事担当責任者が確認 十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	手順 主なステップ	急所 作業のポイント	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地確認(全員)									
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認 (埋設物・構造物)	管理用図面で事前確認							
準備作業(全員)									
	ミーティング	健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
測量	基準高さを定め、削孔深さ、幅などを決める		測量中、作業車にひかれる	○	×	○×	3		正対方向で測量を行うこと。また、退避場所の確認やハンドル切・輪留め・サイドブレーキを確実に行う。
掘削	バックホウで土砂を掘り出す	掘削深さ、幅などを確認する	作業員とバックホウのブーム及びバケットが接触し、怪我をする	○	×	○×	3		バックホウとの間隔を十分保つ。
H鋼の打込	H鋼をダウンザホールで打ち込む	岩がある場合は、オーガで掘削後打ち込む	重機の誤作動で作業員が怪我をする	○	×	○×	3		必ず有資格者が操作する
碎石の敷設	掘削底部に碎石を敷設し締め固める。		振動工具(プレート・パイプレータ)の連続使用で振動障害になる	△	△	△△	3		振動工具の連続使用時間を守る。(1日2h以内、一連続作業時間10分以内・5分以上の休止時間)
アンカー部・鉄筋・型枠設置	端部アンカーの配置及び基礎用の鉄筋を配置し、型枠を設置する。								
コンクリートの打設	コンクリートを打設する。		コンクリートが飛散し、目や口に入る	△	△	△△	3		作業中は防護メガネ・マスクを着用する。
養生									
型枠撤去・埋戻し	型枠を撤去後、隙間に土砂を埋め戻す		埋め戻し作業中、のり面ですべり転倒する。	△	○	△○	2		めかるんでいる箇所は避け、昇降用のロープをGrに設置しておく。
Gr部材の撤去	不要となるGr部材を撤去する	高さ調整部の支柱を高くする	ユニックで吊った支柱を落とし、作業員の足の上に落ちる	△	△	△△	3		有資格者操作のもと玉掛け作業を確実に行う。
Gc部材の新設	Gc部材を新しく配置する	高さ調整部の支柱は低く設置する	Gr等を運ぶ際に、手元を滑らせ、足へ落とす	△	△	△△	3		安全靴・手袋の着用を徹底する。
		ケーブルの緊張の実施	Grケーブル等の重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3		重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
Gc+Gr部材の擦り付け	両部材の擦り付け部の調整								
後片付け(全員)	清掃作業を行う	ほうき、ブロー、ハンドスウィーパーで清掃する							工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事